

日本庭園学会

2026年度通常総会

期日：2026年5月9日（土）

場所：東京都立清澄庭園大正記念館

日本庭園学会

2026年度 通常総会 次第

I. 開 会

II. 会長挨拶

III. 議事録署名人の選出

IV. 議題

1. 会員の入退会について

2. 2025年度会務および活動報告について

3. 2025年度会計収支決算報告および監査報告について

4. 2025年度日本庭園学会賞について

5. 2026年度活動計画について

6. 2026年度会計収支予算案について

7. 2026年度役員について

8. その他

V. 閉 会

議題1 会員の入退会について

2025年度の入退会者数と会員数（2025年4月1日～2026年3月31日）

	合計	名誉会員	顧問	正会員	準会員	賛助会員	購読会員
前年度末（2025年3月31日）	163	0	0	144	6	4	9
2025年度入会者数累計	15	0	0	11	3	1	0
退会者数累計	-10	0	0	-9	0	0	-1
除名者数累計	0	0	0	0	0	0	0
会員区分の変更累計	0	0	0	-1	1	0	0
2025年度末（2026年3月31日）	168	0	0	145	10	5	8

議題2 2025年度会務および活動報告について

(1) 会務

1) 総会

通常総会	日時	2025年5月11日（日）13：00～14：00
	場所	J:COM ホルトホール大分

2) 理事会

第1回	日時	2025年4月19日（土） 10:00～12:00
	場所	Zoom を使用し Web 上にて開催
	内容	議題. 1. 前回理事会以降の会員の入退会などについて 2. 会費の納入状況ならびに滞納者に対する対応について 3. 日本庭園学会賞の審査結果について 4. 2024年度会務および活動報告案について 5. 2024年度会計収支決算報告案について 6. 2025年度活動計画案について 7. 2025年度予算案について 8. 2025年度役員ならびに委員会構成について 9. 2025年度の大会および総会の準備について 10. 日本庭園事典刊行の進捗状況 について 11. 次回理事会の議題について 12. その他
第2回	日時	2025年5月11日（日）12：00～13：00
	場所	J:COMホルトホール大分及びZoomを使用しWeb上にて開催
	内容	議題 1. 前回理事会以降の会員の入退会などについて 2. 会費納入状況について 3. 2024年度会計収支決算報告および監査報告 4. 2025年度予算案について 5. 2025年度役員並びに各委員会構成 6. 前回理事会以降の各委員会からの活動状況報告 7. 2026年度全国大会の準備について 8. 次回理事会の議題と日程について 9. その他
第3回	日時	2025年11月16日（日）11：50～13：00
	場所	京都テルサ及び Zoom を使用し Web 上にて開催

	内容	議題	1. 前回理事会以降の会員の入退会などについて 2. 会費納入状況について 3. 2025～26年度役員並びに各委員会構成について 4. 2026(令和8)年度全国大会および総会について 5. 日本庭園事典の進捗状況について 6. 花博記念協会助成金申請について 7. 全国大会・関西大会のオンラインでの参加について 8. 日本庭園学会誌37号(2023年度)以降の編集・発行状況について 9. 次回理事会の議題と日程について 10. その他
--	----	----	--

3) 2025 年度分会費の納入済み人数 (2026 年 3 月 31 日現在)

合 計	正会員	準会員	賛助会員	購読会員
152/168名	129/145名	10/10名	5/5名	8/8名

※正会員145名のうち年会費無償1名

(2) 活動報告

■総務委員会

活動内容	時期
会員の入退会、住所変更等の対応	随時
会費の徴収・会計処理	
・2025年度会費納入案内送付	2025年8月
・会費滞納者への催促	2025年8月及び2026年3月
・会計処理、監査(2024年度会計)	2025年5月
総会の開催	大会時
・開催案内の送付	2025年4月
・資料作成	2025年5月
学会誌等のバックナンバーの管理・販売	
・販売	随時
・日本庭園協会等からの寄贈冊子の管理	随時
諸団体との提携、交流など	
・学会誌の寄贈(下記※参照)	学会誌発行時
・北米日本庭園協会との学術交流	

※国立国会図書館、科学技術振興機構、東京都立中央図書館、神奈川県立図書館、埼玉県立熊谷図書館、兵庫県立図書館、京都芸術大学、恵泉女学園大学、千葉大学、東京農業大学、南九州大学、京都工芸繊維大学、日本庭園協会、日本造園学会、日本建築学会、東京都公園協会(みどりの図書館) 北米日本庭園協会、韓国伝統造景学会、英国日本庭園協会、欧州日本庭園協会

■学術委員会

活動内容	時期
学会賞選考関係	
・学会賞の広報、学会賞要綱の検討	2025 年 10 月
・選考委員会(受賞の可否、記念品検討等)	2026 年 3 月
論文審査関係	
・論文の審査	随時

■企画委員会（全国大会運営小委員会）

活動内容	時期
全国大会関係	
・ 予告と発表者募集	2025年1月
・ プログラム等の詳細な情報の広報	2025年4月
・ 総会（J:COMホルトホール大分）	2025年5月11日（日）
・ 現地検討会（大友館跡庭園、旧久留島氏庭園、耶馬溪、平田氏庭園等）	2025年5月10日（土）
・ 情報交換会（大分市センチュリーホテル）	2025年5月10日（土）
・ シンポジウム（J:COMホルトホール大分）	2025年5月11日（日）
・ 研究発表会（J:COMホルトホール大分）	2025年5月11日（日）
2026年度の大会準備、広報	2026年1月

■企画委員会（関西大会運営小委員会）

活動内容	時期
関西大会の開催と広報	
・ 予告と発表者募集	2025年7月
・ プログラム等の詳細な情報の広報	2025年10月
・ 現地検討会（流響院と南禅院庭園、醍醐寺境内、醍醐寺三宝院庭園）	2025年11月15日（土）
・ 研究発表会（京都テルサ西館）	2025年11月16日（日）

■企画委員会（見学会運営小委員会）

活動内容	時期
見学会の開催	
・ 現地検討会（飛鳥山公園、渋沢邸跡地）	2025 年 11 月 9 日（日）

■企画委員会（研究会等運営小委員会）

活動内容	時期
例会の開催	オンラインにて企画検討
・ 関西研究会の開催	企画検討

■企画委員会

活動内容	時期
公開オンラインセミナーの開催	2025 年 3 月 24 日～2025 年 4 月 28 日（全 5 回） 2025 年 9 月 29 日～2025 年 11 月 10 日（全 6 回）
公開オンラインセミナーの企画と（公財）国際花と緑の博覧会記念協会への助成応募等	2025 年 8 月 25 日応募 2026 年 1 月 13 日二次審査 2026 年 1 月 29 日 2026 年度助成決定

■ 渉外委員会

活動内容	時期等
日本国内外の関連団体との交流	
・ 北米日本庭園協会（NAJGA）	2025 年 10 月 15～17 日（セントルイス・ミズーリ植物園）
・ 韓国庭園デザイン学会との連携協定	2025 年 5 月 10～11 日 全国大会に 7 名参加 3 名発表
・ 韓国伝統造景学会との交流	随時実施
・ 英国日本庭園協会との情報交換等交流	随時実施
・ 日本遺跡学会ほか関連学協会との交流	随時実施
・ 欧州日本庭園協会との情報交換等交流	5 月 19 日 EuroJGA 会長と日本庭園学会会長ほか交流
・ オーストラリア日本庭園協会との情報交換等交流	2025 年 2 月 14 日に設立。情報交換を随時実施
・ 機関誌の寄贈（総務委員会資料参照）	学会誌発行時に実施

■ 編集委員会

活動内容	時期
学会誌の刊行	
・ 37 号	2025 年 9 月刊行
・ 38 号	2026 年 1 月刊行
J-STAGE への学会誌掲載	37 号まで掲載

■ 広報委員会

活動内容	時期
学会ニュースの発行	
・ 120 号：全国大会詳細プログラム・案内	2025 年 4 月
・ 121 号：関西大会予告	2025 年 7 月
・ 122 号：関西大会詳細プログラム・案内、学会賞	2025 年 10 月
・ 123 号：全国大会予告	2026 年 1 月
学会のホームページの更新	随時
・ 大会、見学会等の開催情報の掲載	ニュース刊行時 ほか随時
・ 学会の普及や会員募集に関する情報の掲載の検討	
・ 例規集・執筆要綱などの諸ルール掲載ページ追加検討	
・ 全国大会予告・研究発表案内	2025 年 4 月
・ 関西大会予告・研究発表案内	2025 年 10 月
・ 理事メーリングリスト作成	2026 年 1 月
学会の普及、会員募集に関する検討	
・ 新年度会員募集に向けて	

■記念事業委員会

活動内容	時期
未提出原稿の督促	随時
「京都府の庭園」原稿について鈴木久男理事と藤井で相談	2025 年 11 月 14 日
朝倉書店と Zoom 相談	2026 年 1 月 16 日
未提出原稿：7 項目(3 名)うち 2 名から 4 月中旬までに提出と連絡あり 校閲未了原稿：なし、校閲済原稿の筆者修正・調整未了：18 項目	2026 年 3 月末時点
ゲラ作成中	2026 年 3 月末段階

議題3 2025年度会計収支決算報告および監査報告について

2025年度会計収支決算報告および監査報告

(監査報告書は別紙)

2025年度 一般会計収支決算

2025年4月1日から2026年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	増減	備考
会費	1,662,000	1,738,000	△ 76,000	年会費、入会金
参加費	300,000	316,000	△ 16,000	大会参加費
広告収入	1,000	0	1,000	
雑収入	50,000	231,888	△ 181,888	著作権料分配金, 大分市助成金
預金利子	200	1,416	△ 1,216	
当年度純収入 計(A)	2,013,200	2,287,304	△ 274,104	
記念事業特別会計から受入	0	0	0	
前年度繰越金	1,599,140	1,599,140	0	
収入合計(B)	3,612,340	3,886,444	△ 274,104	

支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	増減	備考
大会費	600,000	604,780	△ 4,780	要旨集、会場代、講師謝礼他
例会費	100,000	159,451	△ 59,451	会場代、講師謝礼他
学会誌刊行費	1,500,000	928,939	571,061	学会誌 37, 38 号
広報費	200,000	193,457	6,543	ニュース印刷、HP 管理料
学会賞費	50,000	2,830	47,170	郵送代
会議費	200,000	62,699	137,301	Zoom、会議機材、室料、印刷
旅費	200,000	140,181	59,819	アルバイト者交通費ほか
通信費	60,000	56,635	3,365	郵送代
人件費	400,000	395,200	4,800	会務関係アルバイト代
事務費	40,000	17,325	22,675	文具他
事務所費	132,000	132,000	0	(有)造園会館賃料
雑費	20,000	6,320	13,680	振込手数料
予備費	110,340	0	110,340	
欠損金	0	0	0	
当年度純支出 計(C)	3,612,340	2,699,817	912,523	
記念事業特別会計へ繰入	0	0	0	
支出合計(D)	3,612,340	2,699,817	912,523	

当年度純収支差額(A)-(C)	△1,599,140	△ 412,513	△1,186,627	
収支差額(B)-(D)	0	1,186,627	△1,186,627	次年度繰越金

2025 年度 記念事業特別会計収支決算

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	増減	備考
預金利子	1,000	2,723	△ 1,723	
当年度純収入 計(a)	1,000	2,723	△ 1,723	
一般会計から受入	0	0	0	
前年度繰越金	1,718,830	1,718,830	0	
収入合計(b)	1,719,830	1,721,553	△ 1,723	

支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	増減	備考
事業費	450,000	0	450,000	
当年度純支出 計(c)	450,000	0	450,000	
一般会計へ繰り入れ	0	0	0	
支出合計(d)	450,000	0	450,000	

当年度純収支差額(a)-(c)	△ 449,000	2,723	△ 451,723	
収支差額(b)-(d)	1,269,830	1,721,553	△ 451,723	次年度繰越金

貸 借 対 照 表

(2026 年 3 月 31 日 現在)

(単位：円)

資産の部		金額	負債の部		金額
現金		<u>271,980</u>	未払金		<u>0</u>
(一般会計)		210,668	(一般会計)		0
(記念事業特別会計)		61,312	(記念事業特別会計)		0
普通預金		<u>2,435,716</u>	個人未払金		<u>0</u>
(一般会計)		775,475	(一般会計)		0
(記念事業特別会計)		1,660,241	(記念事業特別会計)		0
振替口座		<u>200,484</u>	負債 計		0
(一般会計)		200,484	正味財産の部		金額
未収金		<u>0</u>	前年度繰越金		<u>3,317,970</u>
(一般会計)		0	(一般会計)		1,599,140
記念事業特別会計)		0	(記念事業特別会計)		1,718,830
			当年度純収支差額		<u>△ 409,790</u>
			(一般会計)		△ 412,513
			(記念事業特別会計)		2,723
			正味財産の部 計		2,908,180
合計		2,908,180	合計		2,908,180

財 産 目 録

2026 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

資産の部	項目	金額	摘要	
	現金	271,980	総務預かり分	49,677
			関西支部預かり分	159,347
			その他の預かり分	1,644
			記念事業特別会計分	61,312
	銀行預金	2,435,716	みずほ銀行市ヶ谷支店(一般会計)	579,881
			みずほ銀行出町支店(一般会計)	195,594
			みずほ銀行松戸支店(記念事業特別会計)	1,660,241
	振替口座	200,484	郵便局(松戸)	
	未収金	0	冊子頒布	
	合計	2,908,180		
負債の部	項目	金額	摘要	
	未払金	0		
	個人未払金	0		
	合計	0		

議題4 2025年度日本庭園学会賞について
P18 参照

議題5 2026年度活動計画について

■総務委員会

活動内容	時期
会員の入退会、住所変更等の対応	随時
会費の徴収・会計処理	
・2026年度会費納入案内送付	2026年7月
・会費滞納者への催促	2026年7月及び2027年3月
・会計処理、監査(2025年度会計)	2026年4月
総会の開催	全国大会時
・開催案内の送付	2026年4月
・資料作成	2026年4月
学会誌等のバックナンバーの管理・販売	
・販売	随時
・日本庭園協会等からの寄贈冊子の管理	随時
諸団体との提携、交流など	
・学会誌の寄贈(下記※参照)と交換(日本庭園協会)	学会誌発行時
・北米日本庭園協会との学術交流	

※国立国会図書館、科学技術振興機構、東京都立中央図書館、神奈川県立図書館、埼玉県立熊谷図書館、兵庫県立図書館、京都芸術大学、千葉大学、東京農業大学、南九州大学、京都工芸繊維大学、日本庭園協会、日本造園学会、日本建築学会、東京都公園協会(みどりの図書館)、北米日本庭園協会、韓国伝統造景学会、英国日本庭園協会、欧州日本庭園協会、オーストラリア日本庭園協会

■学術委員会

活動内容	時期
学会賞選考関係	
・学会賞の広報、学会賞要綱の検討	2026年10月
・選考委員会(受賞の可否、記念品検討等)	2027年3月
論文審査関係	
・論文の審査	随時

■企画委員会(全国大会運営小委員会)

活動内容	時期
全国大会関係	
・予告と発表者募集	2026年1月
・プログラム等の詳細な情報の広報	2026年4月
・総会(清澄庭園大正記念館)	2026年5月9日(土)
・現地検討会(清澄庭園、旧安田庭園、江戸東京博物館)	2026年5月10日(日)
・研究発表会(清澄庭園大正記念館)	2026年5月9日(土)
・情報交換会(清澄庭園大正記念館)	2026年5月9日(土)
2027年度の大会準備、広報	2027年1月

■企画委員会（関西大会運営小委員会）

活動内容	時期
関西大会の開催と広報	
・予告と発表者募集	
・プログラム等の詳細な情報の広報	
・見学会	
・研究発表会	

■企画委員会（見学会運営小委員会）

活動内容	時期
見学会の開催	
・現地検討会	11月頃実施にて企画中

■企画委員会（研究会等運営小委員会）

活動内容	時期
例会の開催	
関西研究会の開催	

■企画委員会
委員会

活動内容	時期
公開オンラインセミナーの開催	2026年4月20日～2026年6月1日(全6回)花博協会助成 2026年秋の企画も検討中

■渉外委員会

活動内容	時期等
日本国内外の関連団体との交流	
・北米日本庭園協会（NAJGA）	オンラインセミナー2026での活動紹介5月11日 NAJGA日本ツアー11月9日～15日A, 11月16～20日B
・韓国庭園デザイン学会との交流	全国大会5月9日・10日への参加 オンラインセミナー2026での活動紹介5月25日
・韓国伝統造景学会との交流	随時実施
・英国日本庭園協会との情報交換等交流	随時実施
・日本遺跡学会ほか関連学協会との交流	オンラインセミナー2026での活動紹介6月1日
・欧州日本庭園協会との情報交換等交流	オンラインセミナー2026での活動紹介5月18日
・オーストラリア日本庭園協会との情報交換等交流	随時実施
・機関誌の寄贈（総務委員会資料参照）	学会誌発行時に実施

■編集委員会

活動内容	時期
学会誌の刊行	
・ 39 号	2026 年 6 月刊行予定
・ 40 号	2026 年 9 月刊行予定
J-STAGE への学会誌掲載	38 号掲載準備中

■広報委員会

活動内容	時期
学会ニュースの発行	
・ 124 号:全国大会詳細プログラム・案内	2026 年 4 月
・ 125 号:関西大会予告	2026 年 7 月
・ 126 号:関西大会詳細プログラム・案内、学会賞	2026 年 10 月
・ 127 号:全国大会予告	2027 年 1 月
学会のホームページの更新	随時
・ 大会、見学会等の開催情報の掲載	ニュース刊行時 ほか随時
・ 学会の普及や会員募集に関する情報の掲載の検討	
・ 例規集・執筆要綱など諸ルール掲載ページ追加検討	
・ 全国大会予告・研究発表案内	
・ 関西大会予告・研究発表案内	
学会の普及、会員募集に関する検討	
・ 新年度会員募集に向けて	

■記念事業委員会

活動内容	時期
ゲラ作成とゲラ校正	2027 年 3 月末まで(2027 年度上半期刊行見込み)
各都道府県の庭園リストの作成・整理 (リストは朝倉書店の HP に掲載)	2027 年 3 月末まで

議題6 2026年度会計収支予算案について

2026 年度 一般会計収支予算（案）

2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

費目	予算額	前年度予算額	増減	前年度決算額	備考
会費	1,741,000	1,662,000	▲ 76,000	1,738,000	正会員(148) 1,480,000 準会員(9) 45,000 賛助会員(5) 150,000 購読(8 件 11 口) 66,000
参加費	300,000	300,000	▲ 16,000	316,000	全国大会 260,000 関西大会 30,000 研究会等 10,000
助成金	200,000	0	0	0	国際花と緑の博覧会記念協会
広告収入	1,000	1,000	1,000	0	
雑収入	50,000	50,000	▲ 181,888	231,888	著作権配当、資料頒布等
預金利子	1,000	200	▲ 1,216	1,416	
当年度純収入 計(A)	2,293,000	2,013,200	▲ 274,104	2,287,304	
記念事業特別会計から受入	0	0	0	0	
前年度繰越金	1,186,627	1,599,140	0	1,599,140	
収入合計(B)	3,479,627	3,612,340	▲ 274,104	3,886,444	

支出の部

(単位：円)

費目	予算額	前年度予算額	増減	前年度決算額	備考
大会費	600,000	600,000	▲ 4,780	604,780	資料印刷・会場代・謝礼他
例会費(研究会/見学会)	100,000	100,000	▲ 59,451	159,451	会場代、講師謝礼他
オンラインセミナー費	270,000	0	0	0	セミナー講師謝礼他
学会誌刊行費	1,000,000	1,500,000	571,061	928,939	学会誌 39, 40 号印刷発送
広報費	200,000	200,000	6,543	193,457	ニュース印刷発送、HP 管理
学会賞費	50,000	50,000	47,170	2,830	会議室・旅費・賞状代
会議費	150,000	200,000	137,301	62,699	zoom 費用、会議室代他
旅費	200,000	200,000	59,819	140,181	理事、会務担当者旅費
通信費	60,000	60,000	3,365	56,635	郵送代他
人件費	420,000	400,000	4,800	395,200	会務関係アルバイト代
事務費	200,000	40,000	22,675	17,325	事務局 PC 購入、文具他
事務所費	132,000	132,000	0	132,000	(有)造園会館賃借料
雑費	20,000	20,000	13,680	6,320	振込手数料他
予備費	77,627	110,340	110,340	0	
当年度純支出 計(C)	3,479,627	3,612,340	912,523	2,699,817	
記念事業特別会計へ繰入	0	0	0	0	
支出合計(D)	3,479,627	3,612,340	912,523	2,699,817	
当年度純収支差額(A)-(C)	▲1,186,627	▲ 1,599,140	▲ 1,186,627	▲ 412,513	
収支差額(B)-(D)	0	0	▲ 1,186,627	1,186,627	次年度繰越金

2026 年度 記念事業特別会計収支予算（案）

2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

収入の部

（単位：円）

費目	予算額	前年度予算額	増減	前年度決算額	備考
預金利子	1,000	1,000	▲ 1,723	2,723	
当年度純収入 計(A)	1,000	1,000	▲ 1,723	2,723	
一般会計から受入	0	0	0	0	
前年度繰越金	1,721,553	1,718,830	0	1,718,830	
収入合計(B)	1,722,553	1,719,830	▲ 1,723	1,721,553	

支出の部

（単位：円）

費目	予算額	前年度予算額	増減	前年度決算額	備考
事業費	450,000	450,000	450,000	0	
当年度純支出 計(C)	450,000	450,000	450,000	0	
一般会計へ繰入	0	0	0	0	
支出合計(D)	450,000	450,000	450,000	0	

当年度純収支差額(A)-(C)	▲449,000	▲ 449,000	▲ 451,723	2,723	
収支差額(B)-(D)	1,272,553	1,269,830	▲ 451,723	1,721,553	次年度繰越金

議題7 2026年度役員について

2026年度役員ならびに各委員会構成（案）								
役員 2026年度			委員会構成 2026年度					
監事			委員会	委員長	副委員長	委 員		担当業務
			総務	宮内 泰之	栗野 隆	張 平星		会務、会計
理事	会長	小野 健吉	学術	大澤 伸啓	玉井 哲雄	藤井英二郎	関西 剛康	論文審査
	副会長	仲 隆裕						学会賞選考
		杉本 宏	企画	鈴木 誠	藤田 若菜	大澤 伸啓		企画検討
	関西支部長	仲 隆裕				加藤 元信	杉本 宏	
		足立 佳代				玉井 哲雄	中根 史郎	
		栗野 隆				野村 勘治	栗野 隆	
		大澤 伸啓				(前田 義明)	宮内 泰之	
		岡田 憲久				矢ヶ崎善太郎	張 平星	
		加藤 元信				菊池 正芳	(大竹 桃子)	
		加藤 友規			菊池 正芳	栗野 隆	加藤 元信	全国大会運営
		菊池 正芳				足立 佳代	張 平星	
		五島 聖子				(大竹 桃子)	関西 剛康	
		佐々木邦博			仲 隆裕	杉本 宏	矢ヶ崎善太郎	関西大会運営
		鈴木 久男				(前田 義明)	(吹田 直子)	
		鈴木 誠				高橋知奈津	吉村 龍二	
		関西 剛康			佐々木邦博	岡田 憲久	野村 勘治	見学会運営
		高橋知奈津				加藤 元信	菊池 正芳	研究会等運営
		多々良美春				関西 剛康	張 平星	
		玉井 哲雄				(岡島 直方)	(小山 拓朗)	
		張 平星	渉外	鈴木 誠	中根 史郎	加藤 友規	張 平星	
		中島 宏				五島 聖子		
		中根 史郎						
		野村 勘治	編集	足立 佳代	加藤 元信	仲 隆裕	五島 聖子	学会誌刊行
		藤井英二郎						
		藤田 若菜	広報	加藤 友規	(竹内太郎)	(森本純代)	五島 聖子	学会ニュース、HP
		松本 恵樹	記念事業	藤井英二郎	中島 宏	鈴木 久男		記念事業
		宮内 泰之		藤井英二郎	宮内 泰之	大澤 伸啓	小野 健吉	記念事業
	山田 拓広				鈴木 誠	佐々木邦博	事典編纂実行委員	
	矢ヶ崎善太郎				中根 史郎	仲 隆裕		
	吉村 龍二				(今江 秀史)	(前田 義明)		
()は非理事						多々良美春	(小口 基實)	

議題8 その他

令和8年3月31日

日本庭園学会長 佐々木邦博 様

日本庭園学会学術委員長 大澤伸啓

令和8年度日本庭園学会賞について

○日本庭園学会賞

受賞者：平泉町

理由：地方公共団体として 日本庭園の調査 研究 保護 整備を積極的に推進し 価値を発信している功績

内容：岩手県平泉町では、毛越寺や観自在王院跡、無量光院跡などの庭園の調査・研究・整備を積極的に実施し、その成果を世界遺産『平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺産群－』として発信している。同町におけるこれらの取り組みは、地方公共団体として庭園の調査研究・保存整備・再整備・景観整備の先駆的役割を果たし、日本庭園史研究の深化に寄与するものである。

参考となる資料：平泉の文化遺産（平泉町ホームページ）

島原征行「平泉における庭園の調査と整備」（文化遺産の世界ホームページ）

及川司編 2020『平泉を掘る－寺院庭園・柳之御所・平泉遺跡群－』吉川弘文館

審査対象：事業等～政策や制度の策定並びに運用、事業の実施やマネジメントを積極的に推進した者。また、各種活動により庭園学の発展に貢献した者。

受賞者：加藤友規

理由：『日本庭園のフォスタリングー〈こころとわざ〉の継承と創造－』の出版

内容：造園現場における日々の手入れという暗黙知を、フォスタリング（育成）という学術的かつ普遍的な言語へと昇華させた点は斬新である。完成時の姿を維持するだけでなく、自然の移ろいととも到庭園を育むという視点は、これからの文化財庭園の維持・管理は勿論、現代のグリーンインフラや持続可能な環境管理の理念とも深く共鳴する。実践に基づく力強い理論であり、庭園業界を牽引し、新たな価値観を社会に提示し、影響を及ぼした著作として高く評価できる。

審査対象：著作等：庭園に関する著作、映像、写真等の業績が極めて優れていると認められた者。また、各種活動により庭園学の発展に貢献した者。

○日本庭園学会奨励賞

受賞者：山澤清一郎

理由：『沓脱の変遷と役割 中世・近世の庭園と建築から』の出版

内容：建築と庭園の境界である『沓脱』という局所的な結節点に焦点を絞り、膨大な文献や絵画史料を駆使して日本独特の空間概念を精緻に読み解いた、基礎研究であり、学術的厳格さや探究心は特筆される。今後、さらに分析や考察を深めて研究を進展させて欲しい。

審査対象：著作等：庭園に関する著作、映像、写真等の業績が極めて優れていると認められた者。また、各種活動により庭園学の発展に貢献した者。

日本庭園学会定款

第1章 総 則

- 第1条 本会は、日本庭園学会（英名：The Academic Society of Japanese Garden）と称する。
- 第2条 本会は、事務所を東京都渋谷区神南1丁目20番11号 有限会社造園会館事務所内におく。
- 第3条 本会は、理事会の議決を経て必要の地に支部をおくことができる。また、支部の運営については別に定める。

第2章 目的と事業

- 第4条 本会は、日本庭園とそれにかかわる研究の連絡提携および促進をはかり、もって日本庭園に関する研究の発展と社会的啓蒙に貢献することを目的とする。
- 第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 研究大会、各種研究会、講習会、見学会、その他研究に必要な行事
 2. 機関誌および図書の刊行
 3. 調査、研究
 4. 海外学術諸団体との連絡および連携
 5. その他、目的を達成するために必要な事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
1. 名誉会員 日本庭園学会において、顕著な功績のあった個人。理事会で選出し、総会で推挙する。
 2. 顧問 本会には、必要に応じて顧問を置く。顧問は理事会で選出し、学会長が委嘱する。
 3. 正会員 本会の目的事業に賛同し、会費年額 10,000 円を納める者
 4. 賛助会員 本会の目的事業を賛助し、会費年額 1 口 30,000 円：1 口以上を納める者または団体
 5. 準会員 学生会費年額 5,000 円を納める者
 6. 購読会員 会誌の配布のみを受ける個人、団体、または機関で会費年額 6,000 円を納める者
- 第7条 会員になろうとするものは、入会金 2,000 円および会費を添えて入会申込書を提出し、理事会の承認を受けなければならない。但し、顧問、名誉会員は会費を必要としない。
- 第8条 会員は、本会が刊行する会誌および図書の優先配布を受けることができる。
- 第9条 会員は、次の理由によってその資格を喪失する。
1. 退会
 2. 禁治産及び準禁治産の宣告
 3. 死亡、失踪宣言ならびに団体が委員が所属する団体の解散
 4. 除名
- 第10条 会員で退会しようとするものは、理由を付して退会届を提出しなければならない。
- 第11条 会員で次の各号の一に該当するときは、総会の議決を経て、会長がこれを除名することができる。
1. 会費を 2 年以上滞納したとき
 2. 本会の会員としての義務に違反したとき
 3. 本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為のあったとき
- 第12条 既納の会費は、返納しない。

第4章 役 員

- 第13条 本会には、次の役員を置く。
- 理事 30 名以内（内会長 1 名、副会長 2 名）
- 監事 2 名
- 第14条 理事及び監事は正会員の中から選任し、理事は互選で会長、副会長を定める。
- 第15条 会長は、本会の業務を総理し、本会を代表する。副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または欠けたとき、その職務を代行する。監事は会務を監査し、その結果を総会に報告する。
- 第16条 理事は理事会を組織して、この定例に定めるもののほか、本会の総会の権限に属する事項以外の事項を決議し、執行する。
- 第17条 本会の理事の任期は 2 年とし、再任は妨げない。

第5章 会 議

- 第18条 理事会は毎年 2 回以上会長が招集する。
- 第19条 理事会は、理事現在数の 3 分の 2 以上出席しなければ、議事を開き議決することができない。但し、当該議事について書面をもって予め意思を表示したものは出席者とみなす。理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 第20条 通常総会は、毎年 1 回、会計年度終了後、会長が招集する。臨時総会は、理事が必要と認めたとき、いつでも招集することができる。
- 第21条 会長は、正会員現在数の 5 分の 1 以上から、会議に付すべき事項を示して、総会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から 20 日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 第22条 通常総会の議長は、会長とし、臨時総会の議長は会議のつど会員の互選で定める。
- 第23条 次の事項は、通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。
1. 事業計画及び収支予算についての事項
 2. 事業報告及び収支決算についての事項
 3. その他理事会において必要と認めた事項
- 第24条 総会は、正会員の現在数の 3 分の 1 以上出席しなければ、その議事を開き議決することができない。但し、当該議事について書面をもって、予め意思を表示したものは出席者とみなす。
- 第25条 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 第26条 総会の議事の要領および議決した事項は、会員に通知する。
- 第27条 すべてに会議には議事録を作成し、議長および出席者代表 2 名以上が署名押印の上、これを保存する。

第6章 資産および会計

- 第28条 本会の資産は次のとおりとする。
1. 別添財産目録記載の財産
 2. 入会金および会費
 3. 事業に伴う収入
 4. 資産から生じる果実
 5. 寄付金品
 6. その他の収入
- 第29条 本会の資産は、理事会の議事を得て、会長が管理する。
- 第30条 本会の事業遂行に要する費用は、入会金、会費、事業に伴う収入および資産から生じる果実などをもって支弁する。
- 第31条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第7章 定款の変更ならびに解散

- 第32条 この定款は、理事会および総会において、各々 4 分の 3 以上の議決を経なければ変更できない。
- 第33条 本会の解散は、理事会および総会において、各々 4 分の 3 以上の議決を経なければならない。
- 第34条 本会の解散に伴う残余財産は、理事会および総会において各々 4 分の 3 以上の議決を経て、本会の目的に類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

第8章 補 則

- 第35条 この定款施行についての細則は、理事会および総会の議決を経て別に定める。

付 則

この定款は、平成 4 年 6 月 21 日から施行する。

平成 6 年 6 月改正	平成 8 年 6 月改正
平成 9 年 6 月改正	平成 14 年 5 月 25 日改正
平成 15 年 6 月 7 日改正	平成 15 年 11 月 29 日改正
平成 22 年 6 月 13 日改正	平成 25

